

**英語で読む 大岡信の詩** (原文込み) 谷川俊太郎 序文 ジャニーン・バイチマン 翻訳

What Is Poetry? #2

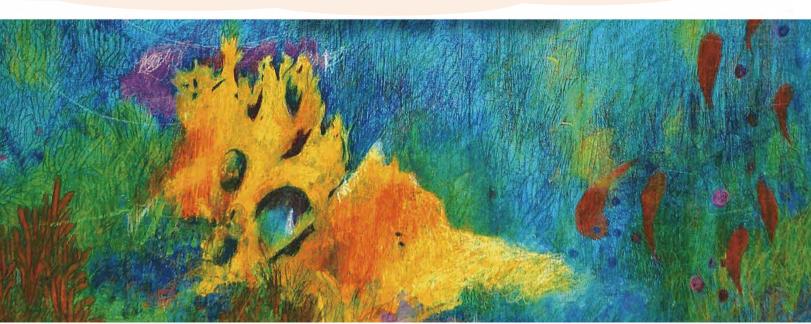
It is not child's play but the poet is a child

詩とはなにか 2 こどものあそび ではない しじんは こどもです

出版元: Kurodahan Press (黒田藩プレス)

商品コード:9784902075953

Kinokuniya.co.jp, Amazon.co.jp 他で購入可能(参考価格¥2,000)





大岡信 詩人・評論家・翻訳家。日本ペンクラブ元会長。国内・海外において日本を代表する詩人として活躍。朝日新聞一面に28年にわたって『折々のうた』を連載、日本全国の読者に多様な詩・短歌・俳句等を日々紹介した。文化勲章受章。2017年没。

Janine Beichman 文学研究者・翻訳家・脚本家。大東文化大学名誉教授。コロンビア大学博士。研究と詩を融合させた正岡子規および与謝野晶子の評伝、新作能『Drifting Fires』(邦題『漂炎』、大岡信・訳)他多数の著作がある。

四元康祐(詩人・萩原朔太郎賞受賞者)「こうして読む大岡さんの詩の、なんと若々しく、瑞々しいことだろう!一方で日本の詩の古典と和解し、もう一方で西洋のモダニズムやシュールリアリズムを発見しながら、そうすることの歓びと興奮に打ち震えている。大岡信の詩は、日本の口語自由詩のまだ長くはない歴史における、最も幸福な日々のほろ苦い思い出のようだ。25年以上の歳月を費やして磨き抜かれた、ジャニーン・バイチマンさんの見事な翻訳を通して、その詩はいま再び新しい生命を授けられた一一『遊星の寝返りの下で』生きる私たちすべてのために。」

斎藤昌哉(詩人・『Snow Bones』著者) 「詩人・大岡信と翻訳者・ジャニーン・バイチマンとの間には世界観や気質において非常に似通っているところがあるように思われる。詩人の全業績を俯瞰できる当翻訳集を秀逸なものにしているのは、二人の相性の良さである。ページをめくるごとに詩人が生き生きと声を発してくる。それほどまでに、バイチマンによる英訳の数々は詩人の魂の奥深くへと私をいざなってくれる。」

水田宗子(詩人・比較文学者)「詩人であり日本文学の研究者でもあるジャニーン・バイチマンは、短歌と俳句の狭間に存在する詩を書く大岡信の作品世界に潜む深い洞察を引き出し、その個性あふれる詩を創造するために、詩人・大岡が丹念に鍛え上げた技も照らし出してくれる。」